

## 第 2 回（令和元年 9 月 26 日開催） 小平市長期総合計画基本構想特別委員会要旨

※審議会の検討用にまとめたものです。正式な会議録は、小平市議会ホームページから閲覧できます。

開催日時	令和元年 9 月 26 日（木）午前 9 時から午後 0 時 33 分
開催場所	第一委員会室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員 13 名</li> <li>松岡あつし委員長 橋本久雄副委員長</li> <li>伊藤央委員 川里富美委員 さとう悦子委員 佐藤徹委員</li> <li>竹井ようこ委員 橋本孝二委員 福室英俊委員 細谷正委員</li> <li>水口かずえ委員 山田大輔委員 幸田昌之委員</li> <li>・事務局 3 名</li> <li>企画政策部長 企画政策部総合計画担当課長</li> <li>企画政策部政策課長補佐兼総合計画担当係長</li> </ul>
配布資料	<p>資料 1 ①（仮称）小平市第四次長期総合計画策定の基本方針について</p> <p>資料 1 ②（仮称）小平市第四次長期総合計画策定の基本方針（概要）</p> <p>資料 1 ③（仮称）小平市第四次長期総合計画の策定体制</p> <p>資料 1 ④（仮称）小平市第四次長期総合計画策定に係る全体スケジュールの概要</p> <p>資料 1 ⑤（仮称）小平市第四次長期総合計画基本構想審議会のスケジュール（案）</p> <p>資料 2 （仮称）小平市第四次長期総合計画基本構想 検討の進め方</p> <p>資料 3 ①小平市第三次長期総合計画の実施状況</p> <p>資料 3 ②小平市第三次長期総合計画と連動する個別計画等</p> <p>資料 4 ①小平市政を取り巻く状況</p> <p>資料 4 ②「小平市長期総合計画策定のための市民アンケート調査報告書」の概要</p>

### 《主な質問項目等》

- ・第三次長期総合計画の実績等について
- ・第四次長期総合計画の計画期間、理念、将来像の考え方について
- ・推計（人口、財政、職員数）について
- ・長期総合計画基本構想審議会について
- ・第四次長期総合計画の周知について
- ・市民アンケート結果について
- ・中学生、高校生、大学生インタビューについて
- ・中期実行プランについて
- ・市内の策定体制について
- ・Society5.0 の観点、ICT 等の活用について

### 《主な意見・提案等》

- ・多摩格差解消は、近隣市との公共交通（コミュニティタクシー等）の連携など、引き続き強く広域連携を進めてもらいたい。

- ・劇的な ICT の進化に今後もしっかり対応していく姿勢を示すようお願いする。
- ・税負担の担い手、社会保障の担い手である若い世代を増やしていくことに注力してもらいたい。高齢になっても安心して住み続けられるまち、財政的に安心できるまちを示してもらいたい。
- ・小平市は都心にもすぐ出られることが強みである。西武新宿線との連携を頑張ってもらいたい。
- ・市民まつりなど、様々なイベントを活用して市民の皆さんに長期総合計画について周知することが大切である。
- ・地域コミュニティが希薄である状況下において、世代間交流が大切である。小平市に長く住みたいと言われるような計画づくりを。
- ・今後も、職員はどんどんまちに出て市民参加を積極的に行ってもらいたい。
- ・外国人は今後増えるという事。地域コミュニティの視点などからも検討してもらいたい。
- ・長期総合計画審議会の時間内では、意見を言い切れない場合もある。事前に意見をもらい、それらを踏まえてまとめてほしい。
- ・長期総合計画は 12 年以上の、もっと長い目を持つ必要があるのではないかな。
- ・理念は今後、是非打ち出すべき。
- ・中学生、高校生、大学生インタビューは若い方の思いも分かり職員にも有益であると思う。
- ・市民アンケート調査は、30 歳前後の回答が少なかったということ。回答率を上げるために工夫が必要。
- ・アンケートの回答率をあげるためにも、QR コードなどを添付し、そこから回答できるようにするなど検討してもらいたい。
- ・第三次長期総合計画が終わった段階で改めて総括をして、計画に反映を。
- ・住宅の増は、小平市の魅力である「緑・農地」が減るということ。食い止める方策も合わせて考えていく必要がある。
- ・小平市の魅力を減らさないで人口を増やす事をしてほしい。
- ・小平市の特色がみえるよう、ビジョンとして落とし込んでもらいたい。
- ・50 年後を見据えるというならば今の若者、更に女性にターゲットを絞るべき。
- ・企業を大切にす。大企業の誘致も大事。意見交換の実施など検討し、スケジュールに加筆を。
- ・都心に出やすいという事は、市内で仕事や買い物をしないという事。市民が市内でお金を使うということだけではなく、外からのお金を呼び込むという広域的な視点で 50 年後をしっかりと見据え、計画するべき。
- ・Society5.0 に関して議論を更に深めていただきたい。
- ・フレイルの観点を計画、ビジョンに反映していただきたい。
- ・Society5.0 時代を見据える必要がある。
- ・長期総合計画は過去から将来につながる世代を思いながら練っていかねばならないと思う。
- ・第三次長期総合計画の理念も将来像も分かりづらい。具体性はある程度必要。全員賛成は無理だが、目指すのは良い。
- ・市民と時代認識の共有が一番大事。生産年齢人口から財政状況、職員の人数も推測できる。出さないと未来に向けた長期総合計画はできないのではないかな。
- ・街頭アンケートは効率的で、良い情報が得られると思う。
- ・条件を示し、正確な数字でない事を明記したうえ推計を出すことをやったらいいのでは。市民の皆さんや職員が共有し、どういう社会を、小平市をつくるのか考える。